

島田市役所新庁舎竣工式・内覧会・開庁式

【竣工式】

- 1 日 時 令和5年9月24日（日曜日・大安）
竣工式典 午前10:00～午前10:30（受付:午前9:30～）
来賓内覧会 午前10:30～午前11:30
招待者内覧会 午後1:00～午後2:00
一般市民内覧会 午後2:00～午後4:00
- 2 式典会場 新庁舎1階 ロビー
- 3 出席者(予定) 来賓 市議会議員、衆議院議員、参議院議員、県議会議員、地元自治会関係者ほか
施工者等 木内・大河原・アーク東海建築工事JVほか
施主 市関係者（市長、両副市長、教育長ほか）
合計 約90名
- 5 式次第
- 1 開式
 - 2 式辞 市長
 - 3 祝辞 市議会議長、国会議員
 - 4 祝電披露
 - 5 動画上映
 - 6 くす玉開披（正面玄関前）
 - 7 祝賀飛行（航空自衛隊 第11飛行教育団）
 - 8 閉式
- 6 祝賀飛行 くす玉開披（正面玄関前）のタイミングで市役所上空を飛行する。
- 7 内覧箇所 執務室（共用廊下から）、相談室等、共用部の打合せスペース、大会議室、議場

【開庁式】

- 1 概要
- (1) 日時 令和5年10月10日（火）午前8時20分
 - (2) 場所 新庁舎正面玄関前
 - (3) 次第 ①市長あいさつ
②市議会議長あいさつ
③テープカット（市長、両副市長、教育長、議長、副議長）
④開庁

【新庁舎の概要】

1 建物概要

新庁舎	鉄筋コンクリート造（免震構造）	地上4階
	延床面積	約1万1,250㎡（現庁舎の約2倍の広さ）
倉庫棟	鉄骨造	地上2階
	延床面積	約450㎡

2 新庁舎の特徴

(1) 地下水熱の利用

大井川によって形成された扇状地には豊富な地下水帯がある。新庁舎では、この夏冷たく冬暖かい（年間通じて平均約15℃）地下水熱を空調設備に利用することで、省エネルギー化・省CO2化を図る。

(2) 西風の利用

島田市は南アルプスの山々から大井川の谷を吹出口として、平野部に吹きおりにくる風の影響を受け、年間を通じて卓越した西風が吹く。新庁舎では、積極的にこの風を取り入れ自然通風を行うことで、春、秋の中間期にはエアコンを使わなくても快適な室内環境となるようにするとともに十分な換気量を確保する。

(3) 地域材の積極利用

共用部の天井材、議場の壁材・天井材・家具、木製の受水槽に大井川流域産材を活用する。

(4) 太陽光発電

新庁舎では、地元のエネルギーグループが屋上に設置した太陽光発電設備によってつくられた環境にやさしいエネルギーを利用する。

3 新庁舎の災害対策

(1) 免震装置

新庁舎では大地震が発生しても継続して業務ができ、迅速な災害復旧が行えるよう免震装置を採用している。

(2) 浸水対策

千年に一度発生する確率の洪水（大井川流域で2日間に787mmの大雨）でも浸水しないようにするため新庁舎では1階の床の高さを現庁舎より50cm程高く設定している。

(3) 非常用発電設備や緊急汚水槽の設置

地震など大きな災害により、停電や公共下水道が使えなくなった時でも庁舎の機能を維持できるよう非常用発電装置や緊急汚水槽を設置する。

担当 庁舎建設課 曾根、小柳津
電話 36-7959